

看護ニュース

インフルエンザの

治療は48時間！



では前回に続きまして、インフルエンザのお話を少々

今回は症状とそれに対する治療法についてのお話です。

まずインフルエンザは、インフルエンザウイルスがのどや気管支、肺へ呼吸とともに侵入し、急激に増殖していきます。

ここまでだと風邪と同じ感じなのですが、出てくる症状が違います
(次図参照)

かぜとインフルエンザは、ココが違う！

| | かぜ(普通感冒) | インフルエンザ |
|-----------|----------------------------------|--|
| | | |
| 発症時期 | 1年を通じ散発的 | 冬季に流行 |
| 主な症状 | 上気道症状 | 全身症状 |
| 症状の進行 | 緩和 | 急激 |
| 発熱 | 通常は微熱(37~38℃) | 高熱(38℃以上) |
| 主症状(発熱以外) | ● くしゃみ ● 喉の痛み ● 鼻水、鼻づまり など | ● 咳 ● 喉の痛み ● 鼻水 ● 全身倦怠感、食欲不振 ● 関節痛、筋肉痛、頭痛 など |
| 原因ウイルス | ライノウイルス、コロナウイルス、アデノウイルスなど | インフルエンザウイルス |

このような高熱と全身の痛みが急激に来た場合は要注意！インフルエンザの可能性が高いです。

そんな時はすぐに病院に行ってください！

よく宣伝でも「すぐに病院へ」と言っていますが、なぜ急ぐの？

と思っただけかもしれませんが、そりや早くしたほうが、伝染させないしひどくならないからじゃないん？

それももちろんあるのですが、もう一つ重要な理由があるんです

それは『タミフル』などのインフルエンザの治療に使うお薬は

(ウイルスを殺す) お薬ではなく(ウイルスを増やさない) お薬なんです

なのでウイルスが増え切ったしまった48時間を超えてしまうとあまり意味がなくなってしまうからなんです

なので口を酸っぱくして早めに病院へといってるわけなんです。

風邪かも？と勝手に決めつけないで罹り付けのお医者さんに一度相談してみてください。

その時に熱が何℃で痛みが有るか無いかしっかり伝えて下さいね

では次回は予防法についてインフルエンザだけではなく感染全般についても書こうと思っています。

